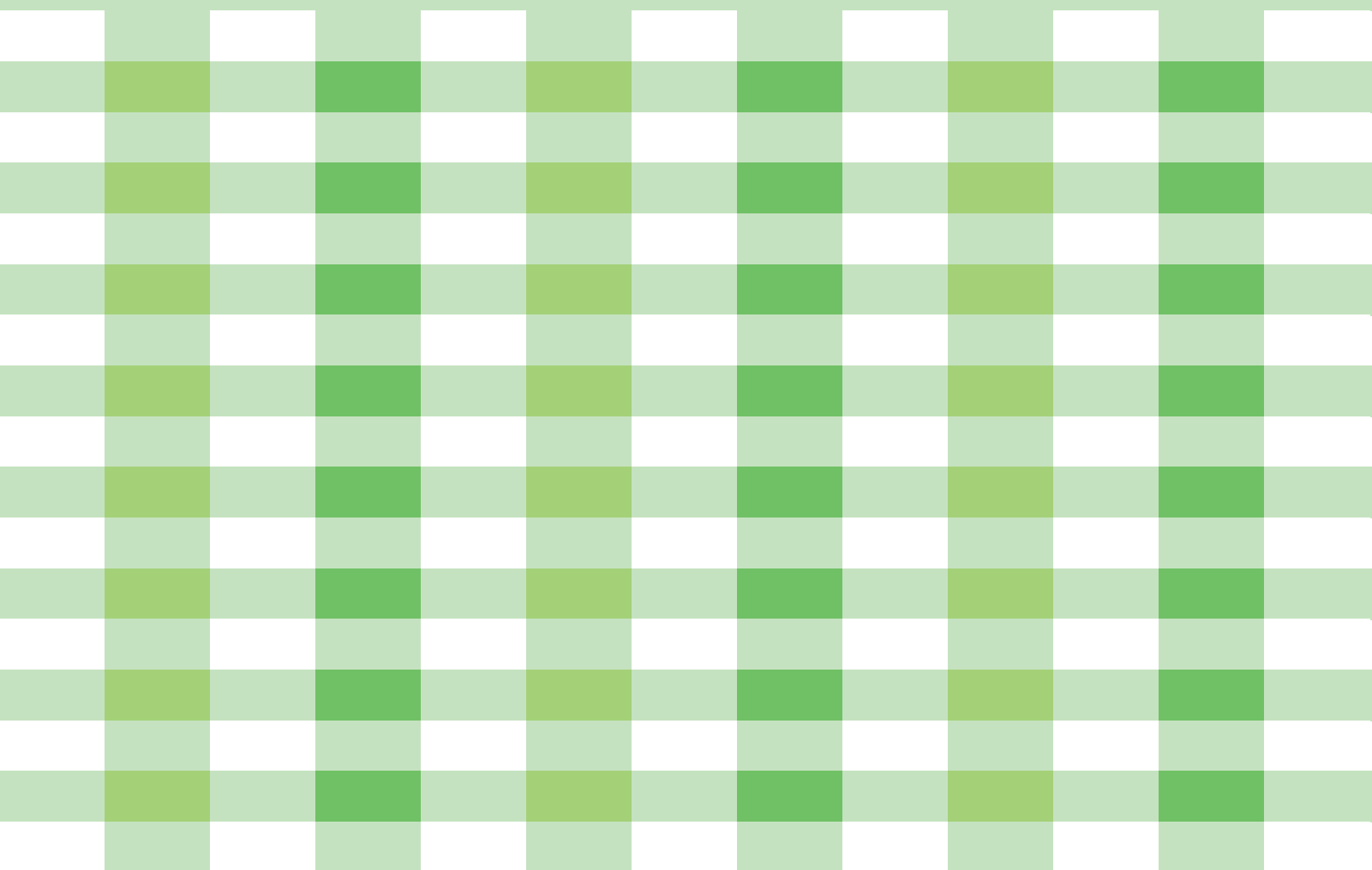


HIMESHIN

DISCLOSURE 2022

姫路信用金庫の現況

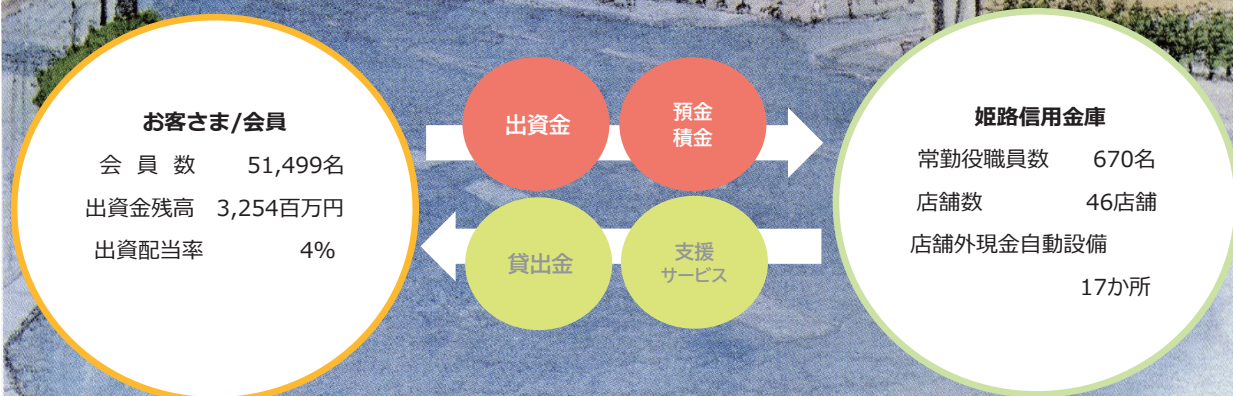


THE HIMEJI SHINKIN BANK

すべてを郷土繁栄とともに

地元のお客様からお預かりした大切なお金を、地元で資金を必要とするお客様へ融資をすることにより、事業の繁栄や生活向上のお手伝いをするともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めてまいります。

また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に取り組んでおります。



令和4年3月31日現在



ごあいさつ

理事長 三宅知行



平素より姫路信用金庫をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当金庫は「すべてを郷土繁栄とともに」という創業理念のもと、地域社会全体の成長に貢献することを目指しています。地域を取り巻く環境は、加速する人口減少、高齢化の進展、中小企業数の減少など様々な課題を抱えており、さらには、新型コロナウイルスの影響が長期化し、特に中小企業においては深刻なダメージを受けています。

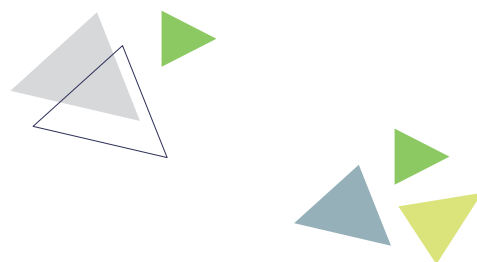
国内経済においては、新型コロナウイルス感染症の影響などから一部に弱めの動きが見られるものの、基調としては緩やかに回復しています。また、今後は一部地域で感染が再拡大する可能性はあるものの、ワクチンの追加接種が進むことにより経済活動の正常化が進展すると見込まれ、回復のペースは徐々に加速すると考えられます。一方で、景気の下振れリスクとしては、新たな変異株の出現により再び経済活動が妨げられる恐れがあることやウクライナ情勢の悪化による世界経済の後退などが考えられます。

このような情勢の中、当金庫では「新型コロナウイルスによって大きな影響を受けた事業者や地域等への支援」を最重要課題として位置付け「資金繰り支援」、「経営改善支援」、「個人と地域社会の課題解決支援」に注力しました。また、「経営環境の変化に対応するための業務の変革」を掲げ、「渉外活動の方向性」、「店舗戦略・店舗運営」、「非対面チャネル、デジタル技術の活用」、「効率的な組織運営」など業務の変革を進めています。さらに、昨年10月には「ひめしんSDGs宣言」を公表し、持続可能な地域社会の実現に向けて取り組んでいます。

以上の取組みを進めてきた結果、本年度の業務純益は13億7百万円、経常利益は10億6千9百万円、当期純利益は9億5千4百万円となりました。また経営の健全性を示す自己資本比率は9.72%となり、国内基準の4%を上回る結果を維持することができました。

当金庫では、引き続ききめ細かなサービスを提供しつつ、中期経営計画の2年目を迎える令和4年度も「支援力の強化と変革への挑戦」をメインテーマに掲げ、新型コロナウイルスによって大きな影響を受けた事業者や地域等への支援に取り組むとともに、アフターコロナも見据えた取組みも進めていきます。また、金融仲介機能を十分に発揮し、地域経済の持続的な成長に貢献してまいります。当金庫への変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

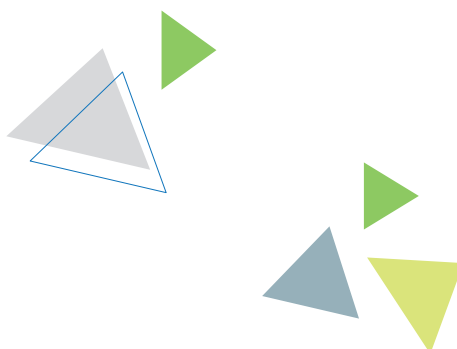
この小冊子は、当金庫の経営方針や業況・活動状況などをわかり易くまとめたものです。ご高覧を賜り、身近な<ひめしん>へのご理解を一層深めていただければ幸甚に存じます。



CONTENTS

ごあいさつ

令和3年度の取組み 業績のご報告	2
中小企業の経営の改善及び 地域の活性化のための取組みの状況	4
お取引先への支援・地域貢献活動 /文化・社会貢献活動、地域交流	10



令和3年度の取組み

業績のご報告

◆預金

お客さまに<ひめしん>をメインバンクとしてご利用いただくため、顧客基盤の拡大を図りました。また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う消費の低迷により、生活資金を手堅く確保する動きや、運転資金等の手元資金を確保される傾向が続き、預金残高は前期比100億円増加の9,470億円となりました。

◆貸出金

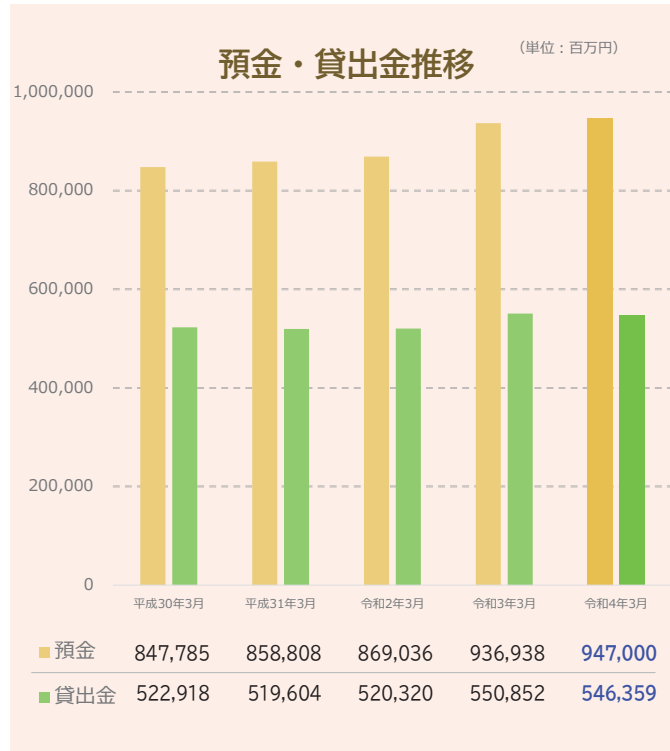
個人のお客さまに住宅ローンや子育て応援商品の販売、非対面チャネルの提案などに取り組んだ一方で、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている事業者に対する資金繰り対応等の支援が落ち着いたことにより、貸出金残高は前期比44億円減少の5,463億円となりました。

◆損益

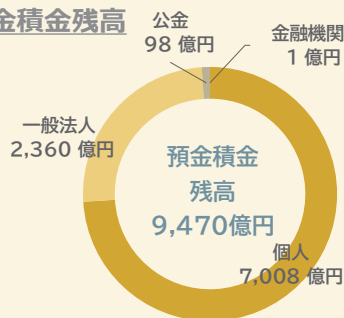
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、金融機関を取り巻く経営環境は、依然不透明な状況が続いていますが、<ひめしん>では「資金繰り支援」・「経営改善支援」・「個人と地域の課題解決支援」に取り組むとともに、業務の変革を進めた結果、業務純益は13億7百万円となりました。

一方、貸倒引当金繰入額が3億8千1百万円となり、経常利益は10億6千9百万円を計上しました。

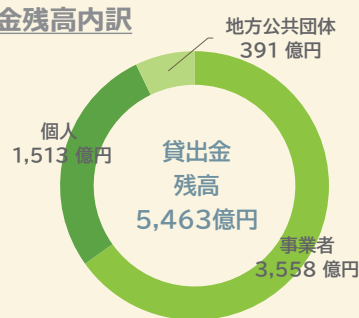
また、当期純利益は前期比3億7百万円増益の9億5千4百万円となりました。



●預金者別預金積金残高



●貸出金残高内訳



令和4年3月末現在

損益状況について

(単位：百万円)

	平成30年3月	平成31年3月	令和2年3月	令和3年3月	令和4年3月
コア業務純益	1,170	1,232	1,904	1,622	1,667
業務純益	1,686	1,498	1,679	1,619	1,307
経常利益	668	758	702	883	1,069
当期純利益	579	342	426	646	954

自己資本比率について

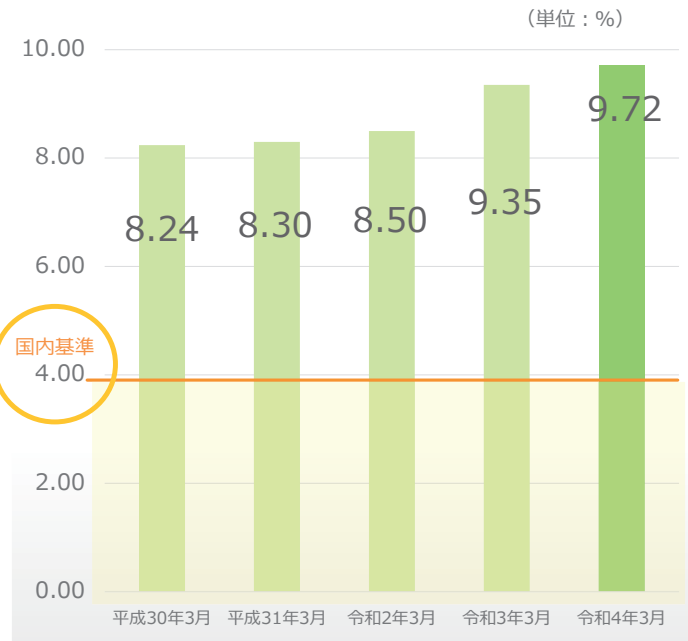
当金庫の令和4年3月末の自己資本比率は9.72%となっており、国内のみで営業する金融機関に必要とされる基準の4.0%を大きく上回っております。

これからも、地域のみなさまから益々の信頼を得ることができるよう自己資本の充実を図り、健全経営に努めてまいります。

自己資本の調達手段について

当金庫の自己資本は、地域のお客さまからお預かりしている出資金および当金庫が積み立てている利益剰余金等によって構成されております。

なお、当金庫の自己資本調達手段の概要は次のとおりです。



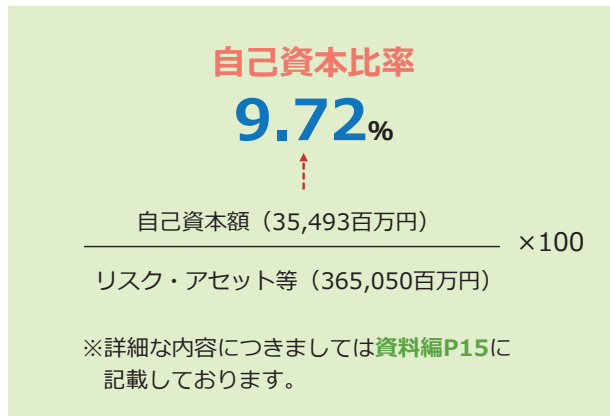
発行主体	姫路信用金庫
資本調達手段の種類	普通出資
コア資本に係る基礎項目の額に算入された額	3,254百万円
償還期限	—

自己資本の充実度に関する評価方法について

当金庫は、これまで、内部留保による資本の積み上げ等を行うことにより自己資本を充実させ、経営の健全性・安全性を十分保っております。

また、当金庫は、貸出金などが一分野に集中することなく、リスク分散が図られていると評価しております。

なお、将来の自己資本の充実策については、年度ごとに掲げる収益計画に基づいた業務推進を通じ、そこから得られる利益による資本の積み上げを第一義的な施策として考えております。



ワンポイント用語解説

■ コア業務純益

業務純益から一般貸倒引当金繰入額と国債等債券損益の影響を除いたもので、金融機関の本来業務から得られる利益を示しています。

■ 業務純益

業務に必要な経費等を控除した利益で、金融機関の基本的な業務に係わる利益を示しています。

■ 経常利益

業務利益に、業務外の損益を加減した利益で、金融機関の経常的な営業活動の成果を示すものです。

■ 当期純利益

経常利益に、特別利益と特別損失を加減し、法人税等を控除した利益で、最終利益ともいいます。

■ 自己資本比率

リスク・アセット等（資産をリスクの大きさに応じて換算した金額など）に対する自己資本（出資金や内部留保など）の割合で、金融機関の経営の健全性を示す指標の一つです。信用金庫など国内だけで営業している金融機関に適用される「国内基準」については4%以上が必要とされ、この基準に満たない金融機関は水準に応じて金融庁より業務改善や業務停止の命令を受けます。

中小企業の経営の改善及び 地域の活性化のための取組みの状況

当金庫は、「地域社会の住民生活と産業経済の発展に奉仕」することを基本方針に掲げ、「地域社会に貢献し共生する」という使命を胸に、地域金融の円滑化・地域密着型金融の推進を行っております。

そのなかでも特に、中小企業の経営の改善及び地域の活性化に向けて、当金庫では次のように取組みを進めております。

中小企業の経営支援に関する取組み方針

当金庫では、「地域金融円滑化のための基本方針」や「地域密着型金融推進計画」において、中小企業の経営支援に関する取組みにかかる方針を公表しております。



「地域金融円滑化のための基本方針」(一部抜粋)

● 取組み方針

地域の中小企業および個人のお客さまへの安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。

私どもは、お客さまからの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客さまの抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組めます。

「地域密着型金融推進計画」について

当金庫は創業以来、地域に貢献することを第一に考え、地域密着型金融に積極的に取り組んでいます。計画では、「顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮」、「地域の面的再生への積極的な参画」、「地域や利用者に対する積極的な情報発信」を三本柱として、当金庫役職員が一丸となって継続的に推進していきます。

1 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

地域金融機関として、資金供給者としての役割にとどまらず、長期的な取引関係を通じて蓄積された情報や地域の外部専門家・外部機関等とのネットワークを活用してコンサルティング機能を発揮することにより、顧客企業の事業拡大や経営改善等を支援します。

2 地域の面的再生への積極的な参画

地方公共団体や中小企業関係団体等の関係機関と連携して、地域活性化に関するプロジェクトに積極的に参画します。

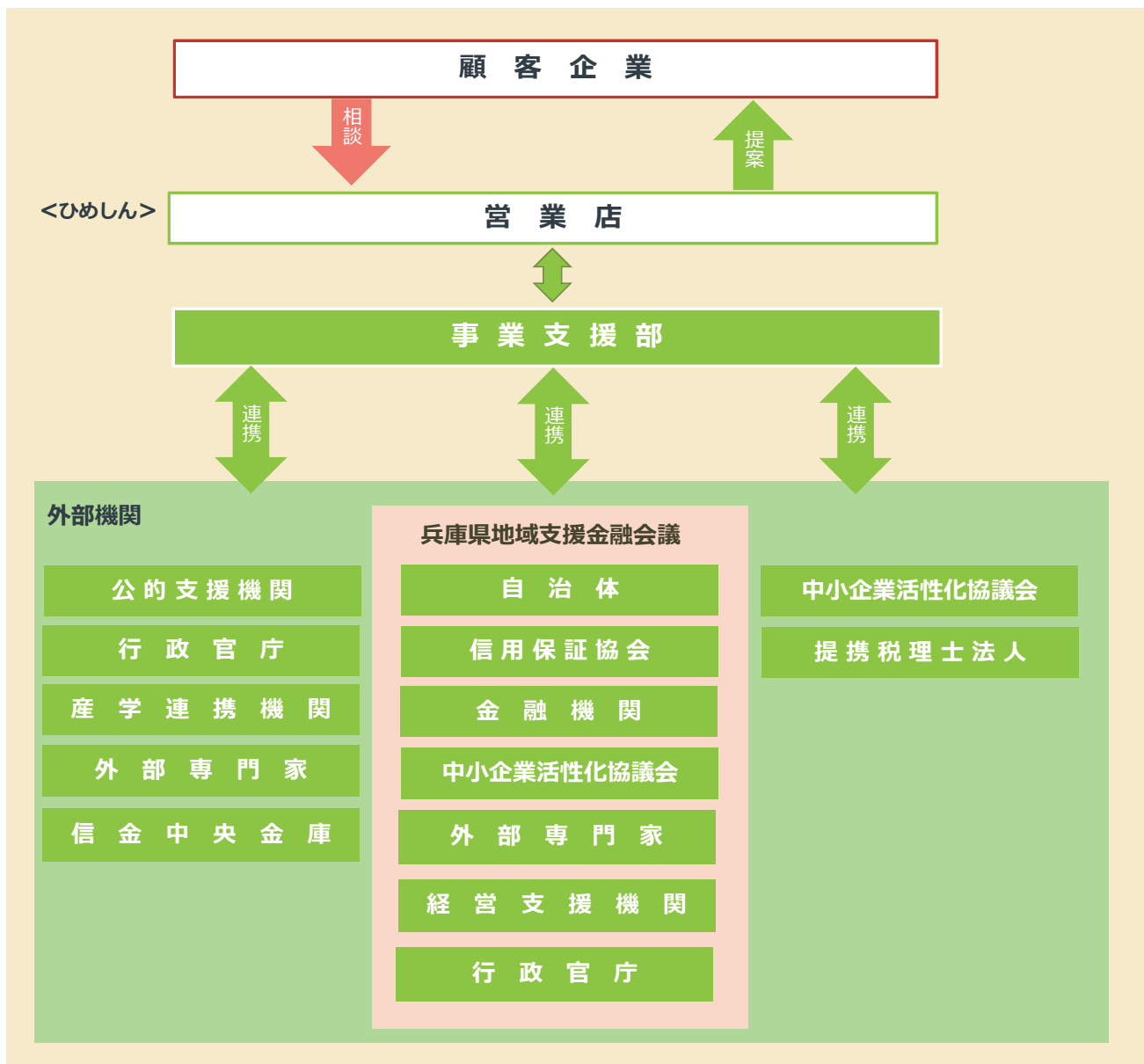
3 地域や利用者に対する積極的な情報発信

地域密着型金融や地域貢献活動の取組みに関して、その内容や成果をホームページやディスクロージャー誌等を通じて地域や利用者に対して情報発信を行っています。

各種媒体を通じて情報発信を続けることで、地域や利用者の方々により一層の理解を深めていただけるよう努めています。

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

当金庫では、中小企業の経営支援に関する取組み方針に基づき、次のような態勢を整備し、取組みを進めております。



ビジネス・サポートの実施

顧客企業のライフステージ等に応じて「創業・新事業支援」「産学連携支援」「ビジネス・マッチング支援」「事業承継支援」「技術評価支援」「海外進出支援」「M&A相談」等の相談を受付し、顧客企業へ外部機関等の活用提案や各種情報提供を行っています。

経営改善支援等の実施

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた企業も含め、業況・資金繰りに窮している企業に対し、経営改善計画策定・資金繰計画策定支援を行います。また、中小企業活性化協議会等と連携し、企業の経営改善の実効性を高め、コンサルティング機能の強化に努めています。

中小企業の経営支援に関する取組み状況

当金庫は地域金融機関として、資金供給者としての役割にとどまらず、日常的・継続的な取引関係を通じて蓄積された情報や地域の外部専門家・外部機関等とのネットワークを活用して、顧客企業のライフステージ等に応じた事業拡大や経営改善等を支援します。

取引先企業の経営改善や成長力の強化

当金庫がメインバンクとして取引を行っている企業3,808先のうち、経営指標等の改善が見られた先は1,391先となっており、36.5%が改善しています。



当金庫がメインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業のうち、経営指標（売上・営業利益率・労働生産性等）の改善や就業者数の増加が見られた先数（先数はグループベース）

（令和4年3月末）

メイン先数	メイン先の融資残高	経営指標等が改善した先数
3,808先	2,196億円	1,391先

※法人に限定（グループに含まれる個人事業主は含む）

経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移

02/3期	03/3期	04/3期
717億円	819億円	818億円

メイン取引（融資残高1位）先数、及び、全取引先数に占める割合（先数単体ベース）

（令和4年3月末）

メイン取引先数	割合
8,119先	78.0%

※個人事業主については融資取引がある場合、すべてメイン取引先として計上

取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

ライフステージ別の与信先数（先数単体ベース）、及び、融資額

（令和4年3月末）

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
		先数	先数	先数	先数	先数
ライフステージ別の与信先数	10,338先	607先	534先	3,765先	520先	396先
与信先に係る事業年度末の融資残高	3,453億円	132億円	277億円	2,064億円	197億円	262億円

※法人で財務データ登録の無い先または個人事業主は、先数・融資残高の合計のみ計上

A 創業・新事業開拓の支援

- 兵庫県信用保証協会、日本政策金融公庫、商工会議所等と連携した創業・新事業支援
- 創業計画の策定や創業期における資金供給の実施

顧客企業のライフステージ等に応じて「創業・新事業支援」、「海外進出企業支援」、「ベンチャー企業支援」等各種相談を受付し、外部機関等の活用の提案や各種情報提供を行っています。

令和3年度の創業、第二創業の支援件数は327件となりました。

支援の内容としては、創業計画の策定支援が88先、創業期における融資が330先、創業支援機関等への紹介が32先となりました。

今後も姫路創業ステーション等と連携し、顧客企業への支援機能を強化し、更なる充実を図ってまいります。

- 兵庫県立大学等外部機関との連携による技術評価、製品化・商品化支援

平成17年2月に兵庫県立大学と産学連携協定を締結し、同大学と共同で研究開発に取り組む企業を対象に助成金を支給する「ひめしん研究開発支援助成金」制度を設けています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により助成金の支給を見送りましたが、これまで16年間累計で65先25,200千円を助成しています。過去の助成金贈呈式では報道関係者をお招きし、地域に向けた当金庫の取組みの発信、採択企業のPRに繋げています。

また、企業の研究開発の資金調達支援のほか、同大学や公的機関と連携し、企業の技術相談の橋渡しも行っていきます。

B 成長段階における支援

- 「川上・川下ビジネスネットワーク事業」等のビジネスマッチング事業や、産学官連携による技術開発などの販路開拓支援

中小企業の有するビジネス・シーズ（優れた技術やノウハウ）と、大企業・中堅企業のニーズとのマッチング機会の提供を行っています。

当金庫ではお客さまの本業を支援するため、外部機関とのネットワーク構築や、課題解決に向けた様々な取組みを行っています。令和3年度は、「川上・川下ビジネスネットワーク事業」等を活用したビジネスマッチングなど213先に対して販路開拓支援を行うとともに、新たな取組みとして地域の中小企業の成長を支援する金融機関連携プラットフォームである「姫路信用金庫Big Advance」の運用を開始しました。

- 信金中央金庫、ひょうご産業活性化センター、兵庫県よろず支援拠点、兵庫県立大学等の外部専門家を活用した本業支援

令和3年度は、当金庫メインのお取引先のうち、経営改善提案を行っている先の割合は21.2%で、本業支援先806先のうち159先で経営改善が見られました。

また、本業支援に関連して信金中央金庫やひょうご産業活性化センター等の外部機関を活用した先数は40先、兵庫県よろず支援拠点や各種補助金等の中小企業支援策を活用して支援を行った先数は103先となりました。

- 「中小企業経営力強化支援法」に基づく経営革新等支援機関として、補助金申請支援を始めとした支援

当金庫は平成24年11月5日に同支援機関に認定され、金庫に在籍する中小企業診断士を中心としたチームで認定支援機関として兵庫県中小企業活性化協議会※事業に積極的に取り組み、企業の経営改善を支援しています。

また、認定支援機関として国の補助金等の施策について顧客企業への周知と事業計画づくりのサポートを行い、多くのものづくり補助金採択企業を支援しました。

※令和4年4月1日、「中小企業再生支援協議会」と「経営改善支援センター」が統合され、「中小企業活性化協議会」が発足しました。

C 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

■ 経営改善計画策定支援やモニタリングによる経営改善支援

貸付条件等の見直しにより、経営改善計画策定が必要な支援企業については、営業店が改善計画策定等の支援、策定した計画の進捗等のモニタリングを行っています。その情報は本部と共有し、必要に応じて本部担当者が支援企業へのフォローを実施しています。

当金庫が貸付条件の見直しを行っている先は477先で、経営改善計画の進捗については「好調」が41先（8.5%）、「順調」が173先（36.2%）となっています。

令和3年度は119先の支援先を対象に経営改善支援に取り組み、支援先の業績向上、経営の安定、事業継続のための計画策定等の支援を行いました。

■ 兵庫県中小企業活性化協議会等外部機関等との連携による経営改善・事業再生の支援

支援企業の経営改善の実効性を高めるため、必要に応じて中小企業活性化協議会※等外部機関と連携して支援を行っています。

令和3年度の兵庫県中小企業活性化協議会※の利用先数は24先となりました。また、中小企業の経営支援事業として、お客さまの経営改善計画書の策定を支援するだけでなく、計画の進捗を支援するための会議「経営改善モニタリング会」を、兵庫県中小企業活性化協議会※・兵庫県信用保証協会・他の金融機関の協力を得て令和3年度は2回開催し、関係者一同がお客さまの経営改善に向けて真摯に取り組んでいます。

※令和4年4月1日、「中小企業再生支援協議会」と「経営改善支援センター」が統合され、「中小企業活性化協議会」が発足しました。

D コンサルティング機能発揮のための人材育成

■ 顧客企業のライフステージに応じた提案ができる人材の育成

経営改善支援などコンサルティング機能を発揮できる人材育成を目指す研修・勉強会等を継続的に実施しています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から集合研修の開催を制限したうえで、通信講座を活用した「事業性評価人材養成研修」や「事業承継研修」など、お客さまの本業支援に関連するコンサルティング能力の底上げに向けた研修等を7回実施し、延べ32名が参加しました。



姫路信用金庫Big Advanceの導入（当金庫HP）

金融仲介に関する取組み状況

担保・保証依存の融資姿勢からの転換

当金庫では地域活性化のため目利き力を発揮して、企業の事業内容や成長可能性等を適切に評価し、様々なライフステージにある企業の課題解決に向けた取組みを行っています。

当金庫が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、及び、全与信先数及び全融資額に占める割合（先数単体ベース）

（令和4年3月末）

事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額	35先	76億円
上記計数の全与信先数及び全融資額に占める割合	0.3%	2.2%

※平成30年3月末からは、事業性評価シートを作成した先のみを集計

経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先数に占める割合

（令和4年3月末）

全与信先数①	ガイドライン活用先数②	②/①
10,338先	5,173先	50.0%

地域の活性化に関する取組み状況

■ 中小企業支援ネットワークの設置

中小企業の経営支援のための政策パッケージの一環として、全都道府県に「中小企業支援ネットワーク」を設置し、参加機関が連携して中小企業・小規模事業者の経営改善・事業再生等の支援を行うこととされています。これを受け、兵庫県では信用保証協会が事務局となって、36機関が参画する「兵庫県地域支援金融会議」が平成24年10月に設置されました。

当金庫は同会議に参画し、定期的な情報交換会や研修会へ参加し、経営改善・事業再生ノウハウの向上に努めるとともに、個別の中小企業・小規模事業者の支援の方向性を検討する枠組み（経営サポート会議）などを通じて、顧客企業へ経営改善等の支援を行ってまいります。

■ 地域や利用者に対する積極的な情報発信

当金庫の地域密着型金融や地域貢献活動の取組みに関する様々な情報をホームページ、ディスクロージャー誌等の各種媒体を通じて積極的に発信し続けることで、地域や利用者の方々により一層の理解を深めていただけるよう努めてまいります。



（当金庫HP）



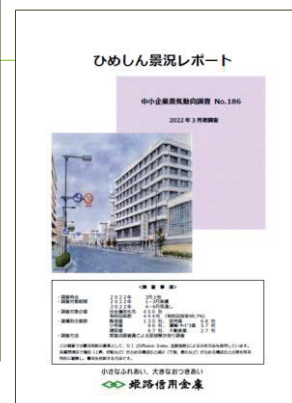
お取引先への支援・地域貢献活動／文化・社会貢献活動、地域交流

<ひめしん>では地域経済の活性化に向けた取組みのほか、地域の文化・芸術活動等のサポートをはじめとする様々な活動を行っています。

情報誌「ひめしんSmile」「ひめしん景況レポート」

お取引先の紹介や生活・文化・レクリエーションなどを掲載した「ひめしんSmile」は18年目を迎えました。また、約450社の景気動向調査結果<ひめしん景況レポート>を発信しております。

どちらも当金庫のホームページからでもご覧いただけます。



子供の詩 有本芳水賞

姫路で生まれ、大正時代の少年少女に愛された抒情詩人・有本芳水を顕彰し、地域の子どもの情操を高めることを目的に創設した「子供の詩 有本芳水賞」は、今回で33回目を迎えました。毎年、播磨一円の小学校から児童の詩を募集し、1万点を超える応募作品の中から、最優秀賞を含めた優秀な作品を表彰しています。

学生の就業体験の受入れ

学生の皆さんに信用金庫への理解を深め、仕事のやりがいや面白さを実感していただくことを目的として、11月～2月に計10回の就業体験を実施しました。



「公益財団法人 三宅正太郎育英会」への支援

昭和38年、大学生に対する奨学金の支給を目的として公益財団法人 三宅正太郎育英会 が設立され、<ひめしん>では、設立時から財団の活動を支援し、人材の育成に貢献しております。

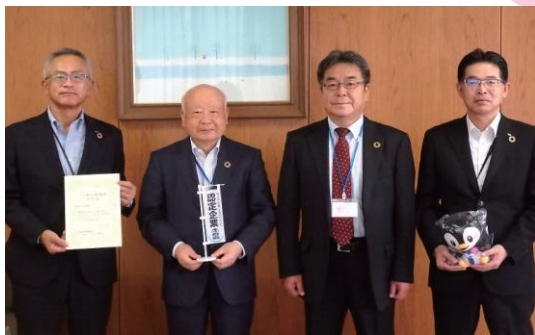


駅前支店「ウマノスズクサ」のプランター設置

駅前支店では、令和3年8月に「姫路城中曲輪バタフライガーデン創造事業」に賛同し、ジャコウアゲハの幼虫が好んで食べる「ウマノスズクサ」のプランターを設置し、育成に協力しています。駅前支店は、姫路城のお膝元にある姫路市立白鷺小中学校の校区内にあり、姫路城を真正面に望める大手前通りに面しています。



WLB (ワーク・ライフ・バランス) の認定企業になりました!



令和3年9月21日、「仕事と生活の調和」の実現に向けて積極的に取り組み、一定の成果があった企業・団体と認定され、「WLB (ワーク・ライフ・バランス) の認定企業」になりました。
 <ひめしん> は、これからも仕事と生活の調和を重視し、職員の働きがいや私生活の充実を図ります。

ひめしん公式Instagram開設

令和3年12月1日、姫路信用金庫公式Instagramを開設しました!
 <ひめしん> の魅力、地域イベントやお店情報、キャンペーン情報を写真や動画とともに発信しています。
 皆さまからの「いいね」やフォローをお待ちしています。



駅前支店の浴衣営業

駅前支店ではコロナ禍で中止となった「姫路ゆかたまつり」の期間に、少しでもお客さまに明るい気持ちをお届けしたいという思いより、浴衣営業を行いました。



店舗一覧 (令和4年7月1日現在)

姫路地区

■本店営業部	〒670-8652	姫路市十二所前町105	☎079-225-1225
■本店(本部)	〒670-8652	姫路市十二所前町105	☎079-288-1121
■東支店	〒670-0015	姫路市総社本町3	☎079-224-2131
■駅前支店	〒670-0925	姫路市亀井町58	☎079-223-3951
■野里支店	〒670-0001	姫路市河間町85	☎079-224-1515
■飾磨支店	〒672-8064	姫路市飾磨区細江2534	☎079-235-1341
■手柄支店	〒670-0966	姫路市延末244-1	☎079-282-3133
■広畑支店	〒671-1121	姫路市広畑区東新町2丁目32	☎079-236-3211
■西支店	〒670-0058	姫路市車崎2丁目1-1	☎079-294-1775
■北支店	〒670-0083	姫路市辻井6丁目3-17	☎079-293-9311
■青山支店	〒671-2222	姫路市青山4丁目21-9	☎079-266-8881
■同六角出張所	〒671-2242	姫路市六角449-7	☎079-266-3737
■白国支店	〒670-0806	姫路市増位新町2丁目25	☎079-288-2251
■大津支店	〒671-1146	姫路市大津区大津町3丁目3-2	☎079-237-2021
■野田支店	〒672-8045	姫路市飾磨区中野田2丁目81	☎079-234-8866
■御着支店	〒671-0232	姫路市御国野町御着739-1	☎079-253-6511
■白浜支店	〒672-8023	姫路市白浜町丙175-8	☎079-246-1850
■飾東支店	〒671-0218	姫路市飾東町庄135-17	☎079-253-7215
■城北支店	〒670-0883	姫路市城北新町2丁目18-15	☎079-281-0741
■網干支店	〒671-1234	姫路市網干区新在家2023-7	☎079-274-3622
■駅南支店	〒670-0955	姫路市安田4丁目150	☎079-286-6900

たつの・相生・赤穂地区

■龍野支店	〒679-4167	たつの市龍野町富永1005-53	☎0791-63-1331
■太子支店	〒671-1523	揖保郡太子町東南365-1	☎079-277-5731
■相生支店	〒678-0031	相生市旭5丁目14-13	☎0791-22-2595
■赤穂支店	〒678-0232	赤穂市中広55-11	☎0791-45-2231

加古川・高砂地区

■加古川支店	〒675-0066	加古川市加古川町寺家町651	☎079-424-2621
■尾上支店	〒675-0023	加古川市尾上町池田693-7	☎079-421-1231
■東加古川支店	〒675-0101	加古川市平岡町新在家401-5	☎079-426-8811
■高砂支店	〒676-0022	高砂市高砂町浜田町2丁目3-10	☎079-442-4125
■宝殿支店	〒676-0805	高砂市米田町米田251-1	☎079-432-5746
■本荘支店	〒675-0154	加古郡播磨町本荘2丁目4-1	☎079-435-6541

福崎・加西・小野・三木・加東地区

■福崎支店	〒679-2203	神崎郡福崎町南田原3132-1	☎0790-22-5116
■加西支店	〒675-2303	加西市北条町古坂1丁目14	☎0790-43-0306
■小野支店	〒675-1378	小野市王子町883-1	☎0794-63-3311
■三木支店	〒673-0403	三木市末広3丁目14-18	☎0794-83-2780
■加東支店	〒673-1463	加東市梶原358-1	☎0795-43-9211

当金庫の地区

姫路市、相生市、たつの市、加古川市、高砂市、赤穂市、明石市、西脇市、三木市、小野市、加西市、神戸市、芦屋市、西宮市、三田市、宍粟市、朝来市、加東市、神崎郡、揖保郡、加古郡、赤穂郡、佐用郡

明石・神戸地区

■明石支店	〒673-0012	明石市和坂14-1	☎078-928-7856
■大久保支店	〒674-0058	明石市大久保町駅前2丁目8-25	☎078-934-6765
■土山支店	〒674-0074	明石市魚住町清水2179-1	☎078-943-0088
■神戸西支店	〒653-0015	神戸市長田区菅原通5丁目59	☎078-576-5021
■六甲支店	〒657-0028	神戸市灘区森後町3丁目1-4	☎078-821-6161
■春日野支店	〒651-0068	神戸市中央区旗塚通1丁目6-20	☎078-241-8626
■湊川支店	〒652-0032	神戸市兵庫区荒田町2丁目15-5	☎078-531-5555
■宮合支店	〒651-0066	神戸市中央区国香通4丁目1-5	☎078-231-9191
■丸山支店	〒653-0875	神戸市長田区丸山町3丁目1-41	☎078-643-1231
■名倉支店	〒653-0882	神戸市長田区長田天神町2丁目14-13	☎078-642-3205

■インターネット支店 URL <https://www.shinkin.co.jp/himeshin/> ☎0120-115-428

店外ATM一覧 (令和4年7月1日現在)

姫路地区

■キャッシュビル出張所	キャッシュビル1階
■グランフェスタ出張所	フェスタ地下街
■イオンモール姫路リバーシティー出張所	イオンモール姫路リバーシティー1階
■コープ田寺出張所	コープ姫路田寺店1階
■姫路赤十字病院出張所	姫路赤十字病院2階
■コープ砥堀出張所	コープ姫路砥堀店内
■イオン姫路店出張所	イオン姫路店北1階
■イオンモール姫路大津出張所	イオンモール姫路大津店1階
■マックスバリュ東山出張所	マックスバリュ東山店1階
■姫路独協大学出張所	姫路独協大学本館2階
■陸上自衛隊姫路駐屯地出張所	陸上自衛隊姫路駐屯地内
■東夢前出張所	旧夢前支店跡地

たつの・相生・赤穂地区

■川西出張所	旧川西出張所跡地
■主婦の店赤穂出張所	主婦の店赤穂店内

加古川・高砂地区

■マックスバリュ安田出張所	マックスバリュ安田店1階
---------------	--------------

明石・神戸地区

■コープ丸山出張所	コープ丸山店1階
-----------	----------

令和3年10月1日、ひめしんSDGs宣言を公表しました。

ひめしんSDGs宣言 ～すべてを郷土繁栄とともに～

〈ひめしん〉は、「すべてを郷土繁栄とともに」の創業理念に通じる「SDGs」の理念に賛同し、相互扶助の精神に則った信用金庫業務を通して社会課題解決に取り組み、持続的な地域の発展に貢献してまいります。

1 協同組織としての特性を活かした持続的な地域経済の活性化

預金や融資等の金融サービス提供や、外部機関との連携を通して、お客さまに寄り添う「伴走型支援」を推進し、地域経済の活性化に貢献する



2 多様な地域人材の育成と豊かなまちづくり

未来を担う児童・学生への教育・文化振興や職員の働きがい向上と能力開発を通して、地域で活躍する多様な人材を育成するとともに、地域振興による豊かなまちづくりを実現する



3 環境に配慮した業務の推進

金庫の事業活動を通じた環境負荷の低減に取り組むことによって、環境の保全に貢献する



<当金庫のディスクロージャー誌（情報編2、資料編）の閲覧に係るご案内>

当金庫のディスクロージャー誌のうち、より詳細な情報については「情報編2」として、計数資料等については「資料編」として当金庫のホームページに掲載しております。閲覧を希望されるお客さまは、当金庫ホームページからご覧ください。

なお、インターネットの操作が分からないお客さま、またはインターネットに接続できる電子機器（パソコン、スマートフォン等）をお持ちでないお客さまへは、別途ご案内いたしますので、当金庫職員までご相談ください。

当金庫のウェブサイト（ディスクロージャー誌掲載ページ）
<https://www.shinkin.co.jp/himeshin/aboutus/keiei.html>





〒670-8652 姫路市十二所前町105番地
TEL (079)288-1121(代)
<https://www.shinkin.co.jp/himeshin/>